

教材の活用



教材の活用の仕方、大切なポイントは何ですか？

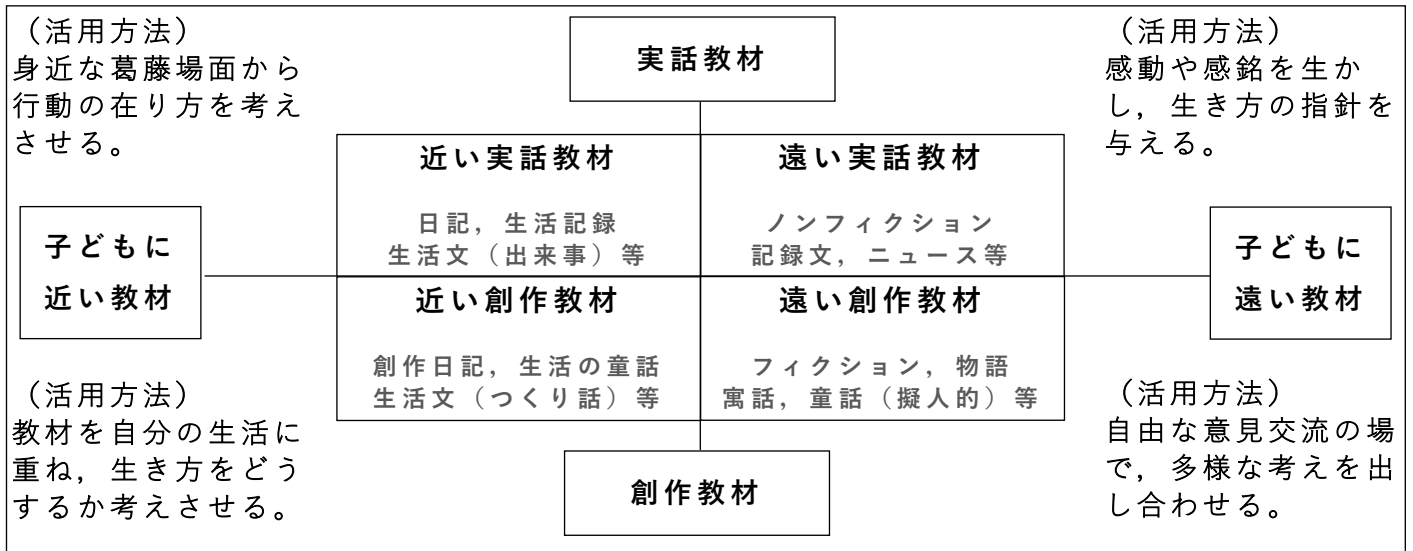
大切なポイントは2つあります。

- ①**教材の特質**を教師が捉えること、
- ②**教材のどの場面や発言等を取り上げるか**を決めることです。ものの感じ方、考え方は生活経験等によって一人一人違います。集団での話し合いを可能にするために、教材を共通の素材として使用します。教材に含まれる複数の道徳的価値について児童生徒に考えさせ、自分との関わりで道徳的価値を深めさせます。



①教材の特質を教師が捉えること

「教材群四タイプ」を参考にしてみましょう。教材が実話なのか創作なのか、また話の内容が児童生徒の生活経験に身近かどうかで分類する教材の特質の捉え方です。また、教材のタイプを意識することで、教材を効果的に活用する力を高めることにもつながります。(永田繁雄氏が提唱)



②教材のどの場面や発言等を取り上げるかを決めること

「資料活用類型」を参考にしてみましょう。授業者である教師の意図や指導観による活用方法の分類です。同一資料同一学年でも指導者によって活用方法は異なるため、活用の意図や発問例が参考になります。(青木孝頼氏が提唱)

活用類型	活用の意図	発問の例
範例的活用	登場人物の行為を、望ましい行為の一つの範例として受け取らせる。望ましくない行為の例として扱う場合もある。	<ul style="list-style-type: none"> ・○○の優れているところは、どのようなところですか。 ・～する(しない)○○の行動から、どのようなことを学びましたか。
共感的活用	登場人物の考え方、感じ方に共感させることによって、現在の自分の価値観に気付かせ自覚を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ・○○に「～」と言われた時の、△△はどのような気持ちでしょうか。 ・この場面で、○○は迷っているようですが、どのようなことを考えているのでしょうか。
感動的活用	児童生徒が教材から受ける感動を特に重視しながら、ねらいとする道徳的価値の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・最も心を動かされたのはどこですか。また、その理由は何ですか？ ・○○は人間ではなく鳥であるのに、なぜみんなの心をこのように感動させるのでしょうか。
批判的活用	登場人物の行為や考え方を批判させ、話し合わせることを通して、道徳的な問題に対する考え方、感じ方を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・○○の考え方や行動について、どのようなことを感じましたか。また、それはなぜですか。 ・～しなかった周りの人たちについて、どのように思いますか。

教材の活用例 「二通の手紙」(東京書籍 新しい道徳3) C-(10) 遵法精神, 公徳心

(あらすじ) 動物園の飼育員である「元さん」は、動物園にやってきた姉弟を、入園終了時間後、保護者の同伴なしに規則を破って入園させてしまう。その後、閉園してもなかなか戻って来ない二人は、園内の雑木林で遊んでいるところを発見される。元さんは子供達の母親から感謝の手紙をもらうが、上司からも懲戒処分の手紙をもらい、自主退職する。

①教材の特質を教師が捉える

教材の特質	活用方法
創作であると共に、飼育員の話は子供から遠い話と言える (教材群四タイプ右下)	自由な意見交流を行う中で、「元さん」の行動について多面的・多角的に捉えさせ、規則を守ることの大切さや意義について深めさせる。



②教材のどの場面や発言等を取り上げるかを決める

活用類型	活用の意図	具体的な活用方法と発問
共感的活用	姉弟を入園させた元さんに共感させ、自分との関わりで道徳的心情を捉えさせる。	→ 元さんの心情を捉えさせると共に、自主退職した元さんの思いや行動について、考えを出し合い、きまりを守ることの大切さとともに考えさせる。発問「姉弟を入園させた時の元さんはどのような気持ちだったのでしょうか？」
批判的活用	元さんの行動を批判的に捉えさせ、元さんはどうすべきだったのか、考えさせる。	→ 問題解決的な学習を取り入れ、ペアやグループでの話し合いを学級全体で共有する。なぜきまりはあるのかということについても考えを深めさせる。発問「姉弟を入園させた元さんの判断についてどのように考えますか」

教材を提示する工夫

	教材の 映像資料 や 音声資料 を活用すると、イメージを持たせるとともに、興味・関心を高めることができます。		資料の 分割提示 や 部分削除 、 新たな場面の追加 により意図的に議論を展開することができます。また、 事前読み させておくと考える時間を確保できます。
	教材を 劇 や 紙芝居形式 にして提示したり、 場面絵 のみを見せて 範読 したりすると興味・関心を引くことができます。		教材の 補助説明 で教材の理解を促す。また、ねらいとする道徳的価値に関する 補助資料 を用意し、価値を深める参考資料にする。

参考文献

[1] 道徳教育編集部：道徳教育 2016年 9月号	p71 - 73	明治図書
[2] 道徳教育編集部：道徳教育 2020年 1月号	p53 - 61	明治図書
[3] 青木孝頼：道徳資料の活用類型 (1979)	p6 - 16	明治図書